

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 晃

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長

(氏名) 尾上 純一

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	37,182	5.2	5,037	△8.7	5,293	△9.6	3,525	△7.2
27年3月期第2四半期	35,338	1.1	5,516	11.4	5,854	14.5	3,798	19.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 3,100百万円 (△18.3%) 27年3月期第2四半期 3,792百万円 (9.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	130.61	—
27年3月期第2四半期	140.73	—

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度(平成27年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	61,311	41,800	68.2
27年3月期	62,991	40,430	64.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 41,800百万円 27年3月期 40,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,900	3.1	9,000	△7.8	9,400	△9.4	6,300	△4.8	233.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	28,844,400 株	27年3月期	28,844,400 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,853,130 株	27年3月期	1,852,984 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	26,991,293 株	27年3月期2Q	26,991,546 株

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度(平成27年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成27年10月30日(金)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11
(2) 四半期個別業績情報(参考)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策等により企業収益が徐々に改善され、景気は穏やかな回復基調にありましたが、円安等を原因とした物価の上昇や消費税増税の消費活動への影響の長期化等、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

放送業界におきましては、広告市況は回復基調にあり、有料放送市場は、デジタルテレビの普及、BSデジタル放送の多チャンネル化による好影響を経た後、堅調に推移しております。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間における収支の状況は、累計正味加入件数の増加に伴い有料放送収入が前年同期に比べ増加したこと等により、売上高は371億82百万円と前年同期に比べ18億44百万円(5.2%)の増収となりました。営業利益は番組等に戦略的な費用投下を行ったことにより営業費用が増加したため、50億37百万円と前年同期に比べ4億78百万円(△8.7%)の減益、経常利益は52億93百万円と前年同期に比べ5億60百万円(△9.6%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億25百万円と前年同期に比べ2億73百万円(△7.2%)の減益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次のとおりです。

<放送>

当第2四半期連結累計期間におきましては、映画、ドラマ、スポーツ、音楽の主要4ジャンルにおける「線(シリーズ化)」と「塊(特集化)」をさらに強化することで、新規加入獲得や解約防止に努めました。

映画では、「WOWOWディズニー・スペシャル 第1弾『アナと雪の女王』がやってくる!」が加入獲得に貢献しました

ドラマでは、オリジナルドラマの「連続ドラマW しんがり〜山一證券 最後の聖戦〜」が好評を得ました。

音楽では、「生中継! 福山☆夏の大創業祭 2015 稲佐山」、「生中継! 矢沢永吉 ROCK IN DOME 2015」等ライブが、スポーツでは、エキサイトマッチスペシャル「マニー・パッキョオvsフロイド・メイウェザー」や、「全仏オープンテニス」から「全米オープンテニス」へと続いたテニスが新規加入を牽引しました。

映画製作では、WOWOW FILMS 「予告犯」、「愛を積む人」を公開しました。

また、加入者限定無料番組配信サービスである「WOWOWメンバーズオンデマンド」をはじめとするWOWOWのWebサービスをよりお楽しみいただくため、iPadをレンタルでご利用いただけるサービスを5月から開始しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は359億44百万円と前年同期に比べ19億96百万円(5.9%)の増収、セグメント利益は48億73百万円と前年同期に比べ5億69百万円(△10.5%)の減益となりました。

当第2四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表のとおりとなりました。複数契約(注)は、当第2四半期末時点において417,008件(前年同期末に比べ12,961件の増加)となっております。

(注) 当社は同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,484円(税込み)の視聴料金を972円(税込み)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
加入及び解約件数 (対前年同期増減率)	315,128 (△17.1%)	268,102 (0.9%)	47,026 (△59.0%)	2,803,356 (1.5%)

<テレマーケティング>

連結子会社の株WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営を行っております。デジタル関連サービスやデータ分析業務の展開により新規外部顧客からの受注獲得を目指しましたが、既存顧客からの受注減を補うには至らず、外部顧客への売上高は減少しました。一方でセグメント間の内部売上が増加したため、当第2四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は、31億40百万円と前年同期に比べ83百万円(2.7%)の増収となり、セグメント利益は1億28百万円と前年同期に比べ55百万円(76.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は613億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億80百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が減少したことによるものです。

(負債)

負債は195億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億50百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は418億円となり、前連結会計年度末に比べ13億69百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.0ポイント上昇し、68.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ14億94百万円減少し、140億27百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は20億31百万円(前年同期比30億83百万円減)となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益52億76百万円及び減価償却費14億83百万円の計上等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額25億20百万円及び仕入債務の減少額16億61百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は19億23百万円(前年同期比5億53百万円減)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出14億52百万円及び無形固定資産の取得による支出5億18百万円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は16億43百万円(前年同期比8億33百万円増)となりました。要因は配当金の支払額16億19百万円等です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成27(2015)年5月15日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成28年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第2四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店等に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティーに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成27年3月期決算短信(平成27年5月15日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ウェブサイト(IR資料室))

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/

(東京証券取引所ウェブサイト(上場会社情報検索ページ))

<http://www.jpx.co.jp/listing/co-search/01.html>

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、前連結会計年度末に非連結子会社であったWOWOWエンタテインメント㈱は、平成27(2015)年6月24日提出の第31期有価証券報告書に記載のとおり、当社グループにおける重要性が増したため、当連結会計年度の期首より、新たに連結範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,915	16,416
売掛金	4,299	4,144
商品及び製品	—	103
番組勘定	14,154	14,370
貯蔵品	72	66
繰延税金資産	1,009	1,012
その他	1,740	1,586
貸倒引当金	△150	△122
流動資産合計	39,041	37,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,450	2,397
機械及び装置(純額)	4,967	5,159
工具、器具及び備品(純額)	872	952
その他(純額)	—	0
有形固定資産合計	8,290	8,510
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	1,727	1,877
無形固定資産合計	6,739	6,888
投資その他の資産		
投資有価証券	7,680	7,320
繰延税金資産	29	30
その他	1,303	1,003
貸倒引当金	△92	△22
投資その他の資産合計	8,920	8,333
固定資産合計	23,950	23,731
資産合計	62,991	61,311

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,551	11,108
未払法人税等	2,528	1,681
賞与引当金	57	63
その他	5,626	4,915
流動負債合計	20,765	17,768
固定負債		
退職給付に係る負債	1,508	1,573
その他	287	168
固定負債合計	1,795	1,742
負債合計	22,561	19,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	34,652	36,447
自己株式	△3,080	△3,081
株主資本合計	39,310	41,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	646	507
繰延ヘッジ損益	473	188
その他の包括利益累計額合計	1,120	695
純資産合計	40,430	41,800
負債純資産合計	62,991	61,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	35,338	37,182
売上原価	17,525	19,591
売上総利益	17,812	17,591
販売費及び一般管理費	12,296	12,553
営業利益	5,516	5,037
営業外収益		
受取利息	1	3
為替差益	85	73
持分法による投資利益	214	144
その他	38	39
営業外収益合計	339	260
営業外費用		
その他	2	5
営業外費用合計	2	5
経常利益	5,854	5,293
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	6	9
ゴルフ会員権評価損	—	8
特別損失合計	6	17
税金等調整前四半期純利益	5,848	5,276
法人税、住民税及び事業税	2,088	1,655
法人税等調整額	△38	95
法人税等合計	2,050	1,750
四半期純利益	3,798	3,525
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,798	3,525

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	3,798	3,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△139
繰延ヘッジ損益	4	△288
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	3
その他の包括利益合計	△5	△424
四半期包括利益	3,792	3,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,792	3,100

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,848	5,276
減価償却費	1,225	1,483
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△99
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△27	65
受取利息及び受取配当金	△25	△25
為替差損益 (△は益)	△190	△7
持分法による投資損益 (△は益)	△120	△44
ゴルフ会員権評価損	—	8
固定資産除却損	6	9
固定資産売却損益 (△は益)	△0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△234	179
前受収益の増減額 (△は減少)	262	122
たな卸資産の増減額 (△は増加)	832	△265
仕入債務の増減額 (△は減少)	△853	△1,661
未払消費税等の増減額 (△は減少)	541	△184
その他の資産の増減額 (△は増加)	△362	△91
その他の負債の増減額 (△は減少)	△180	△243
小計	6,702	4,526
利息及び配当金の受取額	25	25
法人税等の支払額	△1,612	△2,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,114	2,031
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△458	—
有形固定資産の売却による収入	0	—
有形固定資産の取得による支出	△1,706	△1,452
無形固定資産の取得による支出	△312	△518
貸付けによる支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△1
敷金及び保証金の回収による収入	0	64
その他	—	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,476	△1,923
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△23
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△809	△1,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△809	△1,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,882	△1,523
現金及び現金同等物の期首残高	10,192	15,521
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	29
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,075	14,027

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2.
	放送	テレマーケテ ィング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,941	1,241	37,182	—	37,182
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	1,899	1,901	△1,901	—
計	35,944	3,140	39,084	△1,901	37,182
セグメント利益	4,873	128	5,002	34	5,037

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
放送	35,941	105.9
テレマーケティング	1,241	89.3
合計	37,182	105.2

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 放送セグメントには有料放送収入34,573百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報(参考)

① 個別経営成績(累計)・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	35,703	5.2	4,709	△13.5	5,066	△12.3	3,405	△9.2
27年3月期第2四半期	33,948	0.8	5,443	9.1	5,776	10.1	3,749	13.5

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
28年3月期第2四半期	55,621	36,577		
27年3月期	57,163	35,220		

(注) 個別経営成績(累計)・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 平成28年3月期の個別業績予想

本四半期決算短信3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しましたとおり、平成28年3月期の業績予想を修正しております。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
28年3月期	71,800	2.7	9,000	△9.3	6,100	△2.6	226.00

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。